

2022年5月期 第2四半期決算説明会

株式会社三機サービス
(東証一部：6044)

2022年1月18日



- 1 当社について**
- 2 2022年5月期 第2四半期実績**
- 3 2022年5月期 通期業績予想について**

1

当社について

2

2022年5月期 第二四半期実績

3

2022年5月期 通期業績予想について

設立	1977年7月
資本金	616,652千円
売上高	連結115.2億円（2021年5月）
従業員数	連結420名（2021年5月）
代表者名	代表取締役社長 北越 達男
本社	兵庫県姫路市
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業方針	メンテナンスを核とした環境改善により社会に貢献する

ミッション

空間インフラのもっと快適・ずっと安心を提供すること

ビジョン

国内はじめ東南アジアにおいて、安心・快適な
空間のインフラを技術・データ・ITで
プロデュースする会社

バリュー

社員一人ひとりがオーナーシップと勇気・挑戦の心と
他者への尊敬の念を胸にして、ひたむきに仕事に向き合い
ステークホルダーの幸せに貢献する



代表取締役社長
北越 達男



設備の維持管理コスト減少やSDGs実現のための

➤ **省エネ提案**

突発的な故障の発生を減少させるための

➤ **保全メンテナンス**

小売業や飲食業を中心とした**多店舗展開企業**

メンテナンス管理の

➤ **一括アウトソーシング化**

ニーズの高まり

メーカー指定店としての

空調メンテナンス サービス



メンテナンス一括受託
施設の資産価値向上

トータルメンテナンス サービス



インバータ化等
環境改善に貢献

省エネサービス

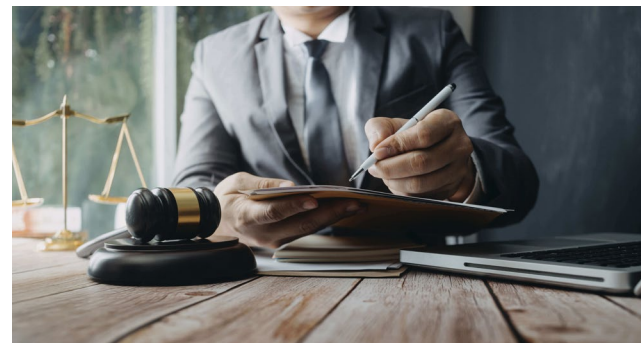


蓄積された技術力やメンテナンスノウハウを活用

事業拡大・業務効率化による利益率の向上



コールオペレーターの
知識・対応力の向上



専属部署による
パートナーの品質確認・教育

品質向上・付加価値提案の強化

コールセンター及び業務部門の
効率化と顧客満足度向上

パートナーの**新規開拓**、
サービスレベルの**維持・向上**



省エネ商材の範囲拡大



他企業とのアライアンス

新たな
成長ドライバー

設備全体の省エネ化
環境・省エネビジネスの事業拡大

内製化
多能工化
短期育成

当社研修センター活用

人材レベルに応じた **研修・指導**

蓄積した **ノウハウの継承**

新規技術・知識獲得

- 1 当社について
- 2 2022年5月期 第2四半期実績**
- 3 2022年5月期 通期業績予想について

■ 新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響

- ・再度緊急事態宣言が発出されたことにより、特に病院・老健施設関連の案件の着工が延期
- ・飲食店や小売業についての状況は昨年度と同様、定期点検の見合わせや提案機会の減少
- ・世界的な半導体の供給不足により必要な設備機器の仕入に影響が生じ、工事が下期に延期

病院や老健施設



立入り制限
工事延期や中止

飲食業



緊急事態宣言中
営業停止
定期点検見合わせ

小売業



来店制限
新規出店・定期点検
見合わせ

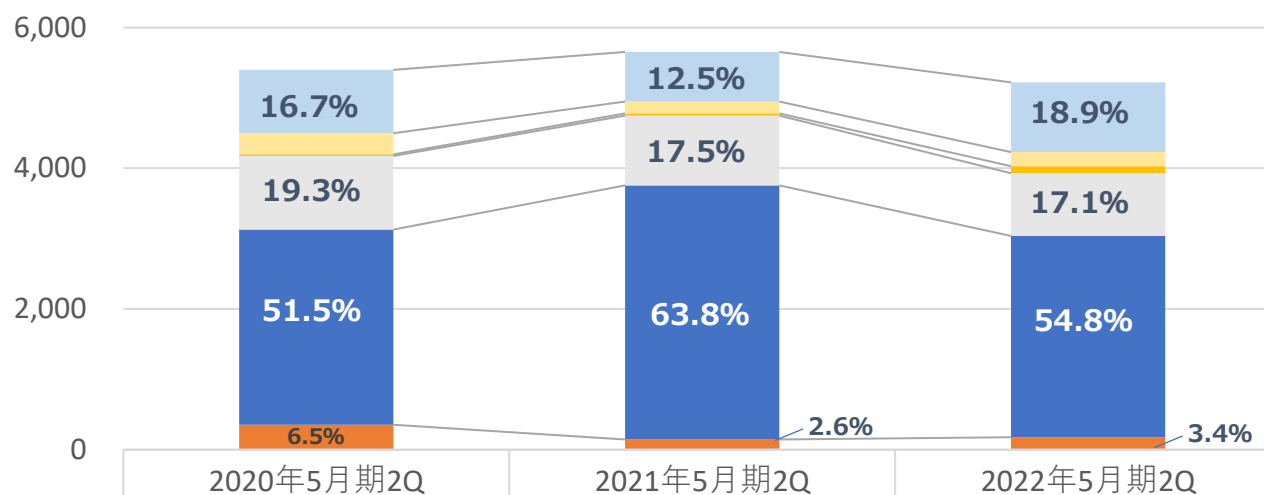
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、工事の延期や新規顧客開拓の進捗が計画を下回っていること等により、売上高は対前年・計画で減少。
- 利益率の高い省エネ工事の延期や、半導体の供給不足による工事延期の影響による売上総利益の減少等を受け、営業利益は対前年・計画で減少。

(単位：百万円)

	2021年5月期 2Q (A)	2022年5月期 2Q (B)	(B)/(A) %	計画 (C)	(B)/(C) %
売上高	5,799	5,383	92.8%	5,870	91.7%
営業利益	133	53	39.8%	119	44.5%
営業利益率	2.3%	1.0%	-	2.0%	-
四半期 純利益	82	57	70.6%	75	76.8%

- 小売業向けの取引が全体の半分以上を超えて推移
- 飲食、イベント施設、医療、その他の割合は増加

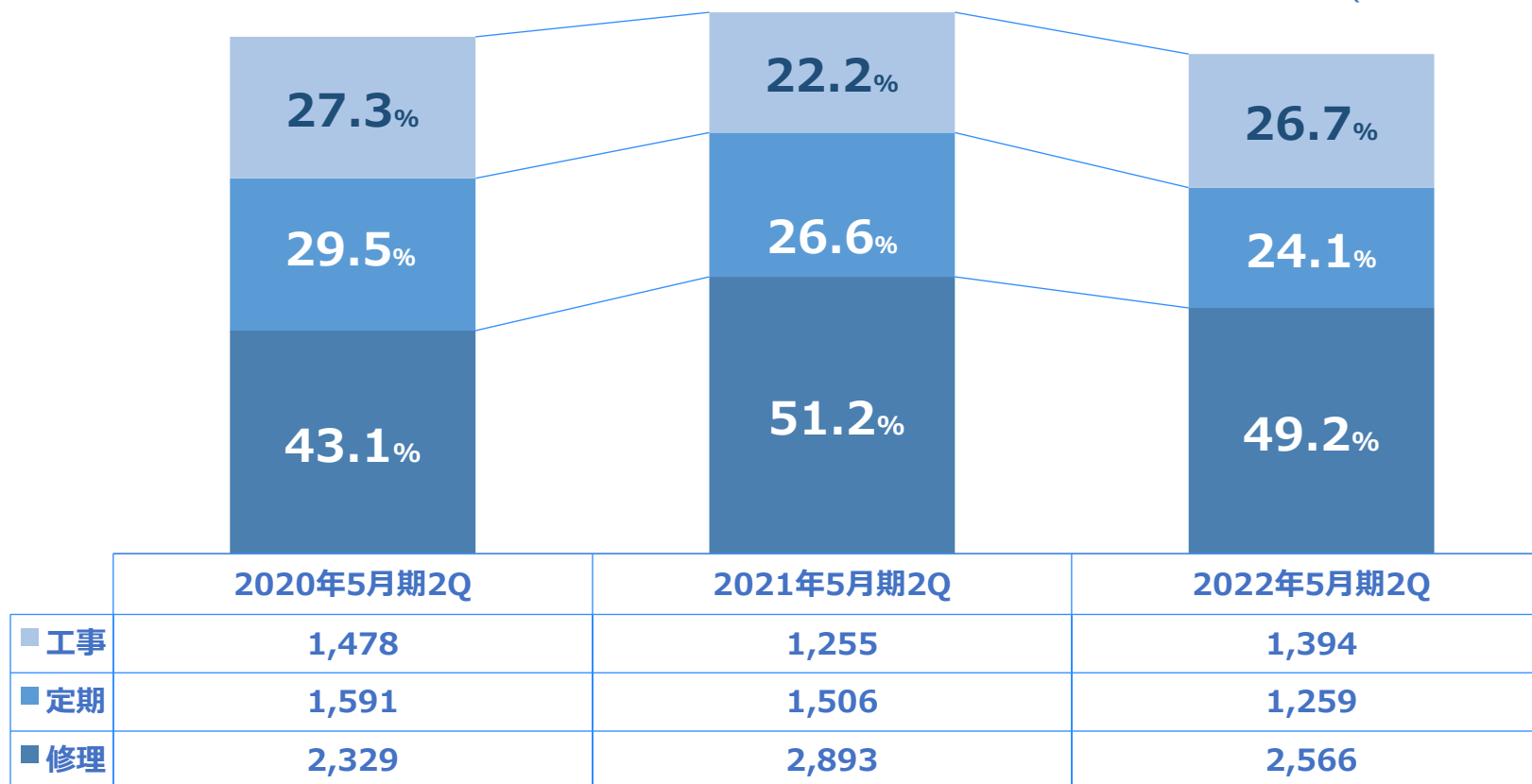
(単位：百万円)



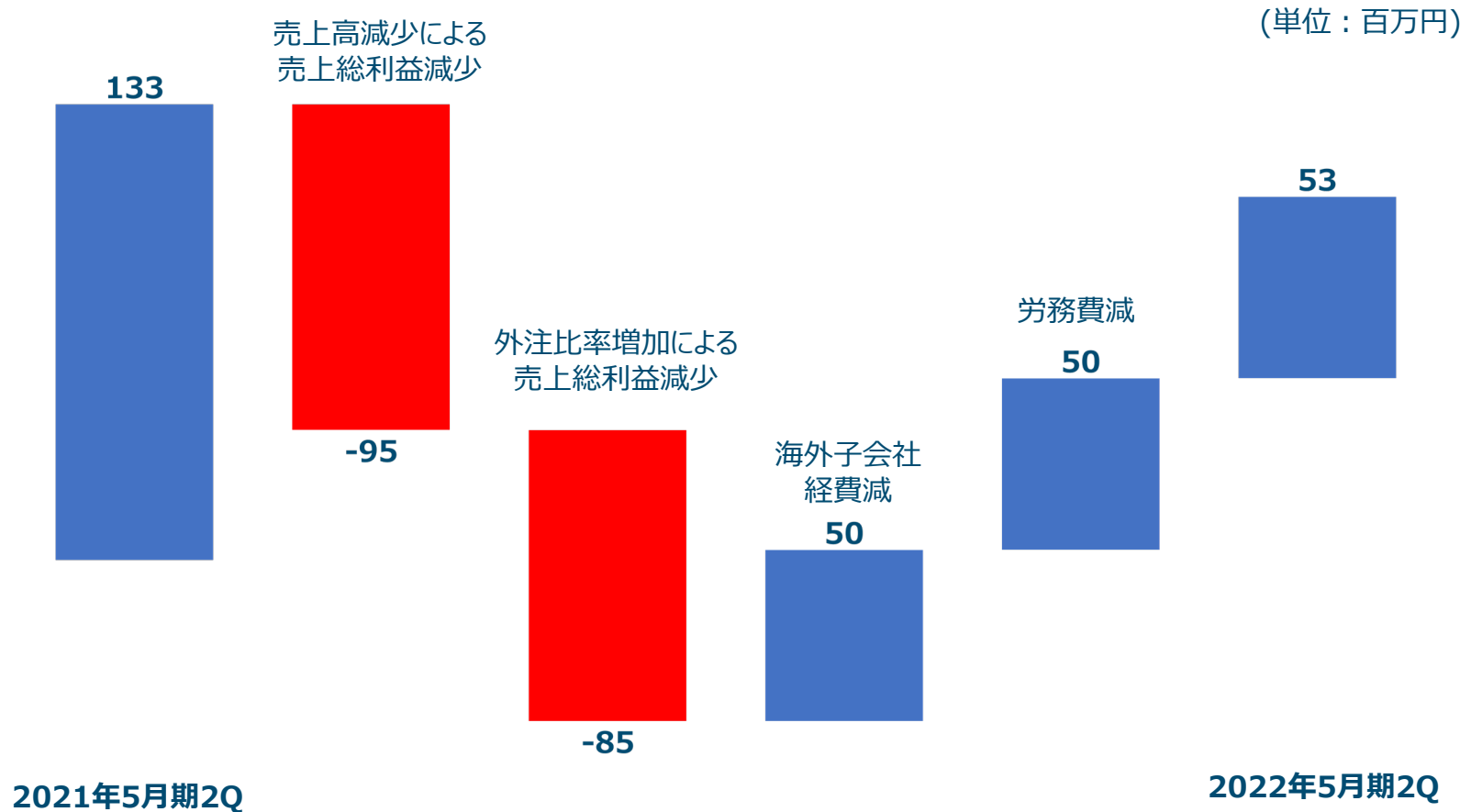
	2020年5月期2Q	2021年5月期2Q	2022年5月期2Q
06.その他	902	706	988
05.医療・介護・福祉	300	169	201
04.イベント施設	21	31	99
03.設備管理・不動産	1,046	992	892
02.小売業	2,778	3,611	2,861
01.飲食	352	145	178

- 工事案件は、小売業の新店・改装工事の増加により4.5pt増加
- 定期案件は、小売業の全体に占める割合が減少したことにより2.5pt減少
- 修理案件は、2.0ptの減少

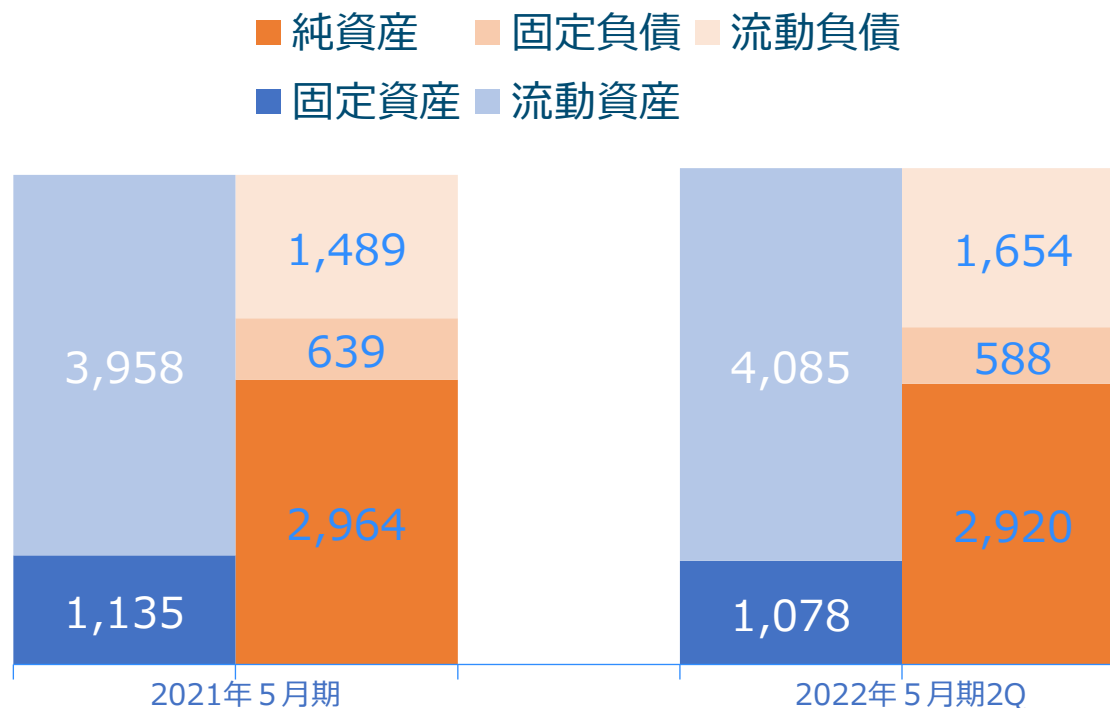
(単位：百万円)



- 売上高の減少や、売上総利益率悪化による売上総利益が減少
- 海外子会社の経費、労務費等の経費減少により販管費は減少



〔連結貸借対照表〕 (単位：百万円)

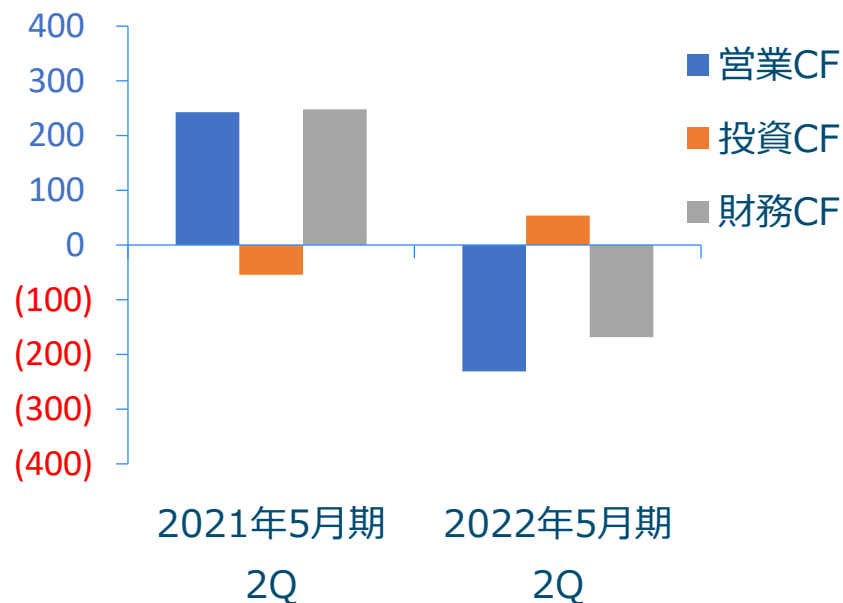


主な増減要因

- (資産)
- △337 現金及び預金の減少
 - +351 売上債権の増加
 - +101 未成工事支出金の増加
- (負債)
- +323 工事未払金の増加
 - △75 未払金、未払費用の減少
 - △53 未払法人税及び消費税等の減少
 - △44 長期借入金(1年内含む)の減少
- (純資産)
- +57 親会社株主に帰属する四半期純利益
 - △89 配当金の支払

- 自己資本比率：未成工事支出金及び工事未払金の増加、利益剰余金の減少により、やや減少
58.2% → 56.6%

〔連結キャッシュフロー計算書〕 (単位：百万円)



(単位：百万円)

	2021年 5月期2Q	2022年 5月期2Q	増減
営業活動CF	243	△231	△474
投資活動CF	△54	54	+108
財務活動CF	248	△168	△416
期末残高	1,341	1,302	△39

主な増減要因

(営業活動CF)

- △45 税引前当期純利益の減少
- 505 売上債権の増加
- △57 棚卸資産の増加
- +182 仕入債務の増加

(投資活動CF)

- +44 ソフトウェアの取得による支出の減少
- +54 有価証券の償還による収入の増加

(財務活動CF)

- △450 長期借入による収入の減少

- 1 当社について
- 2 2022年5月期 第2四半期実績（連結）
- 3 2022年5月期 通期業績予想について**

	2021年5月期 (実績)	2022年5月期 (予想=計画)	前期比
売上高	115億円	125億円	+10億円
営業利益	2.8億円	4.5億円	+1.7億円
営業利益率	2.5%	3.6%	+1.1pt
ROE	6.0%	9.4%	+3.4pt

- 小売業、病院向けは引き合いも好調だが、半導体の供給不足は懸念材料
- メーカーメンテナンスはパナソニック社向けは堅調も、新規案件開拓に苦戦

業界	取り組み内容
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット：地方スーパー数社から引き合いあり ・コンビニエンスストア：SEJの実績を元に他コンビニに横展開中 ・その他：衣料系大手数社から引き合いあり ・新商材：HACCP、省エネ商材導入の提案中
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーン展開の飲食店向けサブスクリプションプランを提案中 ・外食系に加えて中食系チェーン店への
メーカーメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・パナソニック社向け案件は計画通り進捗 ・自社開拓ユーザー向け案件は、新規案件開拓に苦戦
病院	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ患者受け入れ病院以外の病院や、建物の外側で出来る空調工事を中心に老朽化対策や省エネ対策を提案中

配当政策の基本方針

健全な財務構造の維持と継続的かつ安定的な利益還元を並行して取り組む

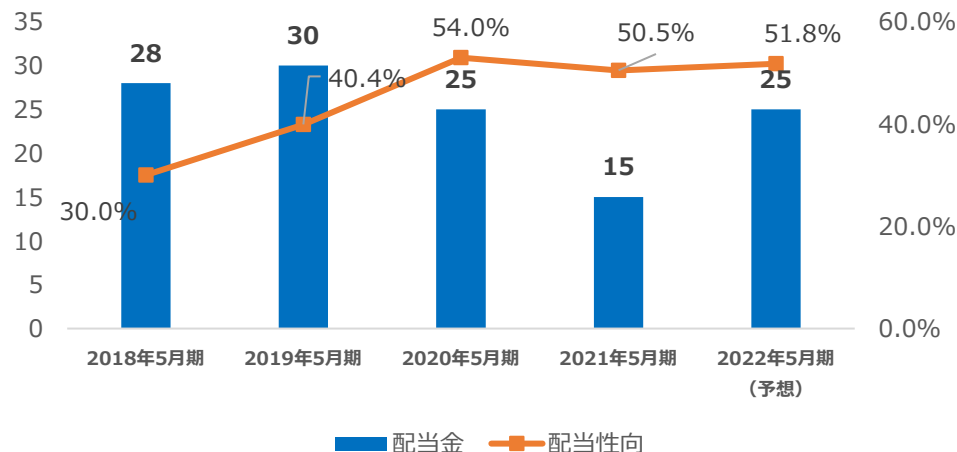
配当方針

◎継続的かつ安定的な利益配当を行う

株主優待

◎ クオカード1,000円分を進呈
※年1回5月末日時点で100株以上保有の方

一株当たり配当金と配当性向 (円、%)



本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

掲載内容については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等、本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何にかかわらず当社は一切責任を負うものではありません。